

目的 愛知県三好町の都市近郊果樹農家（カキ・ナシ主体）では、高生産性農業を目指し、有利作目への転換（幸水梨へ集中）が進んでいる。そのため、年間労働バランスがくずれ、農繁期は農業従事者、特に主婦への労働負担が大きく、健康管理・生活時間に著しい影響を及ぼしている。その対策として、当所では、適正な労働配分による営農生活モデル（年間農家所得 800万円目標）を提示し、個々の農家の設計への援助を図ってきた。しかし、農家レベルではデータ収集がむづかしく、時間を要し、算出方法が繁雑なため、具体的な作成に至っていない。今回、その簡便化を図るため、コンピュータ導入を試みた。

方法 NEC 9801 VM、カラーディスプレイを使用し、MS-DOS版、N88BASICの言語を用い、労働設計ソフト「A9WORK」を開発した。基準データとして、果樹4品目、20品種の品種別・月別・10a当り必要労働時間及び推定農業所得を用いた。使用時に必要な入力データは、経営面積、基幹労働力、家事時間のみであり、すべて画面表示の指示に従い、数字または、「Y」、「N」で入力する方式とした。

結果 従来、手計算、手書きで行なってきた年間労働配分表作成や営農類型の検討が短時間（約5分間）でできるようになり、農家側からも、①わかりやすい、②操作が簡単、③参考にしたいとの回答が得られた。今後、他作物への応用も可能であり、農業経営及び農家生活に活用できると思われる。今回のソフトで出力されるものを以下に示す。①月別旬別労働時間のグラフ表示（基準値と現状との比較）、②労働診断表（季節雇用の目安）3タイプ、③家事分担表 ④地域行事・季節家事の目安 ⑤一覧表（単体表）